

青少年育成アドバイザー養成講習会 【令和7年度募集要項】

- 社団法人全国元気まち研究会

11. 研修日程と内容（予定）

日（曜）	プログラム	内 容	担当・講師
21日 （土）	開講式 13:00～13:20	主催者・来賓挨拶 オリエンテーション	主催者
	1. 講話 13:20～14:00 14:10～14:50	学習障害の現状と施策について 困難を有する若者支援について	文部科学省 近藤修史 こども家庭庁宮本理華子
	2. 講義 15:00～16:00	青少年育成アドバイザーとして、現状の青少年と向き合い共に歩むには	全アド連 事務局長清水成眞
	3. 講義 16:10～17:10	子どもが行きたくなる「放課後の場所」はどんなところかを考えます	放課後NPOアフタースクール
	17:10～17:20	事務局からの連絡案内・宿泊室の鍵	主催者
	4. 講義 18:20～19:50	青少年育成と共にまち創りをする 着眼点や留意点を学びます	社団法人全国元気まち 研究会会長 福留 強
	5. 課題別研究 （課題提起） 20:00～21:00	各グループ：自己紹介で活動状況を出し合い、グループとしての課題や問題を明確にしてまとめます	助言者：福留 強 下田 太一・渡部 純夫
22日 （日）	6. 講義 8:30～10:00	インターネット社会で育っている青少年の現状をふまえた、青少年育成活動の在り方を考えます	NPO法人青少年メディア 研究協会理事長 下田 太一
	7. 演習 10:10～11:40	子どもの心が閉ざされる・開かれるときに気づき、自らが開く対応を考える	東北福祉大学教授 渡部 純夫
	8. 演習 12:30～14:00	昔と今のSDGsを青少年と共に考えて、未来のSDGsに繋ぐには	(一社)国連支援SDGs促進 協会理事 吉田 省三
	9. 講義 14:10～15:40	子ども達の発達・成長とともに抱える問題傾向とは、そこに寄り添い向かい合う姿勢を学びます	青山学院大学心理学科 教授・臨床心理士 小俣 和義
	10. 講義 15:50～17:20	心の病や精神疾患を抱えてしまう、その心情を理解しての対応を学びます	あさか台相談室室長 藤本 裕明
	11. 課題別研究 （解決策を討議） 17:30～20:00	⑤で明確化した問題や課題を深め解決や対策の方向性を検討します	助言者:福留 強・下田 太一 ・藤本 裕明・渡部 純夫 ・小俣 和義・山本邦彦
	12. 課題別研究 （解決案まとめ） 8:30～10:00	各グループでテーマを絞り、おかれた背景や必要条件を明確にし、具体的方策を立案、討議してまとめます	助言者:福留 強 下田 太一・藤本 裕明 渡部 純夫・山本 邦彦
23日 （月）	13. 全体会 （各班の発表） 10:10～11:10	各グループで立案した方策を発表し、講師からのアドバイスを参考に明日からの活動を明確にします	助言者:福留 強 山本 邦彦・下田 太一 渡部 純夫・藤本 裕明
	閉講式 11:10～11:40	修了証授与 事務連絡・閉会挨拶	主催者

※ 講師等の都合によりプログラムが変更になる場合があります。

※ 22日は20:00から全体交流会を行う予定です。

1 2. 参考テキスト

青少年育成アドバイザー入門講座・通信講座でお使い頂いた“アドバイザーの入門書『子ども若者と共に』『共に育つ喜び（事例集）』”をお持ちの方はご持参下さいますようお願い致します。

1 3. 課題選択

研修内容をより深める為に課題別に分かれ意見交換やグループワークを行います。

希望課題番号を下記より選び“申込書”に記入下さい。

記入が無い場合は、こちらで割り振りを致します。

- ① 全ての青少年(虐待・不登校・精神疾病・非行等を含)が健全に成長をするための支援や対応、向き合い方を考える。彼らにとって安心できる居場所を思考する。
- ② 急激な進化拡大化が進むインターネット社会、その中で育っている青少年達をどう捉えて向き合い対応していくか、具体策を考える。
- ③ 価値観の多様化や地域連帯感の希薄化、少子高齢化や青少年問題の多様化の中で、青少年健全育成活動をどうデザインするかについて考える。

1 4. 修了証

この講習会において①～⑫全単位の修了者には修了証を発行いたします。

この講座は既青少年育成アドバイザーのフォローアップ研修も兼ねています。

【講習会お問い合わせ】

全日本青少年育成アドバイザー連合会

事務局長 清水 成眞 携帯：090-2000-0286

養成講習会事務担当 配島 裕美 携帯：080-5014-8085

■ 全日本青少年育成アドバイザー連合会及び青少年育成アドバイザーについて

全日本青少年育成アドバイザー連合会は、都道府県青少年育成アドバイザー会をまとめる全国組織として平成9年9月に発足、会員数約1,300名です。“子どもが伸びるチャンスを活かそう”などをスローガンとした育成課題の全国研究集会なども行っています。

青少年育成アドバイザーは、(旧)社団法人青少年育成国民会議による「青少年指導者のための通信教育」、全日本青少年育成アドバイザー連合会が主催する「養成講習会」を受講した者の中から、青少年育成活動の分野において専門的知識及び経験を有する青少年育成指導者として連合会が認めた者としてします。

会長 香川 勝 〒761-2407 香川県丸亀市綾歌町

事務局長 清水 成眞 〒682-0132 鳥取県東伯郡三朝町

■ 青少年育成アドバイザー東京会について

昭和55年に発足し、現在会員数は20名。地域の育成団体や育成者とのネットワークづくりや資質向上の勉強会、地域の「隣のおじさんおばさん運動」として子どもの見守り、青少年の自立支援や子育て支援活動とともに悩み相談に対する助言などを行っています。

会長 溝口泰志 〒132-0024 東京都江戸川区一之江

令和7年度青少年育成アドバイザー養成講習会申込書

【申込方法】下記の事項の記入要領で、FAXでお申込み下さい。

FAX先 044-933-8568 配島 裕美 宛

(令和8年1月20日(火)までにお申込み下さい。)

(ふりがな) 氏 名			性別 男 ・ 女	生年月日 昭和・平成 年 月 日
住 所	〒			
所 属 (団体・職場)			電話番号 (携帯)	
Eメールアドレス			FAX	
課題選択 宿泊手配 備 考	希望課題選択 (P.3 13参照) 1.青少年への支援 (相談・居場所 虐待・虐め) 2.インターネット 3.地域と青少年	宿泊先の手配 (○をして下さい) 1.主催者手配希望 2.自分で手配する 理由：	備考 1.新規受講者 2.県・通信入門講座受講中 3.県・通信入門講座修了 4.フォローアップ研修	

- ※ ご記入頂いた個人情報 は本講習会の運営及び認定に関する事以外では使用致しません。
- ※ 生年月日の記入は養成講習会参加者全員に保険をかけますのでご記入をお願いします。
- ※ 申込書が不足する場合はコピー 又は アド連HPからダウンロードして下さい。
- ※ この活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。提出された個人情報(写真)は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

【この講習会は国立青少年教育振興機構の助成を受けています】